

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①生徒の課題解決能力と主体的に学習に取り組む態度を育成するため、継続した授業改善に組織的に取り組む。 ②生徒会執行部が中心となり、生徒主体で行事等を企画・運営する力を育み、学校行事・部活動等を活性化させる。	①3年間の「指定校事業」のまとめとして、これまでの研究成果を踏まえ、主体的・対話的な深い学びにつなげる。 ②学校行事や部活動等において、生徒が企画・運営する力を育成するため、協働する力を重視し、生徒が主体的、自立的に活動できるように促す。	①研究授業や授業研究協議会を通じて、生徒が主体的に学び、深い学びに至る手法を実践する。 ②学校行事の準備から運営まで、生徒会執行部や各委員会を中心として、生徒が主体的に活動する機会を増やし、生徒同士の協働による企画・運営ができるように支援する。	①組織として授業改善に取り組み、課題解決に向けた具体的な方策を教科を超えて共有することができたか。 ②生徒が自ら考え行動し、行事の企画や運営を主体的に行い、協働することができたか。					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	①生徒の実情を踏まえて、社会の変化に対応しながら、生徒が自ら考え、自ら行動できるように指導・支援していく。 ②SCやSSWと連携し、外部機関と適切に連携しながら、教育相談コーディネーターを中心とした生徒支援体制を充実させていく。	①生徒自身が、所属する組織の一員としての自覚を持ち、気付きを得て、将来を見据えながら主体的に行動できるように、助言・指導の充実を図る。 ②困難を抱える生徒を早期に把握し、組織的な行動により適切な支援につなぐために、SCやSSW、教育相談コーディネーターとの連携を密にする。	①初動対応に誤りがないうちに職員間での情報共有を図り、グループや学年等で組織的な支援を行う。 ②SCやSSW、教育相談コーディネーター間の連携を密にして、校内コーディネーター会議を定期的に行い、情報共有を行うとともに経験年数の浅い教員の人材育成を図る。	①生徒の実情に応じて、組織的に統一した指導をすることができたか。 ②定期的に校内コーディネーター会議を開催し、校内関係者間で情報共有を図ることができたか。 ③SCやSSWなどと連携し、積極的かつ組織的な相談・支援に取り組むことができたか。					
3 進路指導・支援	○生徒が自らのキャリアについて目標を持てるよう促し、一人ひとりが望む進路希望を実現できるよう、進路指導体制、教育相談体制、学習支援体制のより一層の充実を図る。	○生徒が主体的に考え自己実現していく力を育成できるよう、進路支援体制の充実を図る。	○進路ガイダンスや保護者説明会等を各学年の適切な時期に実施し、学年と連携しながら進路実現に向けた支援を行う。 ○進路相談室の機能を充実させ、進路関連情報の周知を効果的に行う。 ○模擬試験を活用し、振り返りを丁寧に行うことによって、学習到達度の向上を目指す。	○適切な時期に、学年に応じた効果的なガイダンスや説明会等を実施することができたか。 ○進路相談室の利用状況を把握し、生徒に的確な進路関連情報を周知することができたか。 ○模擬試験の診断指標を参考にして、進路実現に向けて取り組む力を育むことができたか。					
4 地域等との協働	○地域貢献活動や近隣の学校との協働活動を充実させ、地域とともにある学校づくりを推進する。	○活動内容の振返りを実施しながら、近隣の学校との協働活動をさらに充実させる。	○間門小学校と連携しているあいさつタイム、見守り活動、防犯教育などを継続して実施する。	○活動を通じて生徒の自主性や自己有用感を高めることができたか。 ○地域の一員である意識・自覚を高めることができたか。					

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)		
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等	
5	学校管理 学校運営	<p>①安全・安心で快適な学習環境の整備に向けた取組みを継続して推進するとともに、不祥事防止の取組みを通じて保護者や県民から信頼される学校づくりを確立する。</p> <p>②学校の教育活動に関する情報発信を積極的に行い、学校への理解が深まるよう努める。</p> <p>③教育活動に関する情報発信について、年間計画に基づく戦略的な広報計画を作成し、説明会等の行事を企画・実施することにより、中学生、保護者の学校理解が深まるようにする。</p>	<p>①校内美化及び衛生管理を徹底する。</p> <p>①不測の事態に備え、防災体制の充実を図る。</p> <p>①PTAと協力し、PTA活動の充実を図る。</p> <p>②戦略的な広報活動を推進し、学校ホームページや学校説明会の充実を図る。</p> <p>③人材育成を最重要課題として、仕事の分散化による負担軽減、量的緩和を図る。</p>	<p>○横浜インターナショナルスクールとの新規の活動について検討する。</p> <p>①清掃用品の整備を定期的に行い、毎日の清掃活動をとおりて校内美化の徹底を継続する。</p> <p>①具体的な場面を想定した防災マニュアルを改訂するとともに、避難訓練やDIG研修会等、生徒が主体的に取り組むことができる防災教育を行う。</p> <p>②生徒が活躍する説明会を企画し、本校の魅力を積極的に発信する。</p> <p>③「総合的な探究の時間」を軸に、職員が自ら課題の解決に取り組み、学校の意思決定に際して発言できる機会をつくり、学校全体の活性化を図る。</p>	<p>①清掃活動等、校内美化の徹底に取り組むことができたか。</p> <p>①生徒が主体的に取り組むことができる防災教育を実施することができたか。</p> <p>②効果的にホームページ等を更新するとともに、説明会等の参加者に対して、十分に本校の魅力を伝えることができたか。</p> <p>③自ら仕事の量的負担をコントロールし、組織として、やりがいを持って業務にあたることができたか。</p>					